

## News ①

## 第27回「私たちの身のまわりの環境地図作品展」で2名の跡見生が入賞しました！

2017年10月29日(日)、第27回「私たちの身のまわりの環境地図作品展」の表彰式が行われ、中学1年生の中河知紗さんが「国土地理協会会長賞」を、同じく中学1年生の宮澤奈夏子さんが「地図調製技術協会会長賞」を受賞しました。同展は小学生から高校生までが、身のまわりの環境について、自分で調査したことで、観察したこと、考えたことを地図にする全国規模の地図作品展です。



中河さんの作品。細かい道路や鉄道なども手書き。旧石器時代から奈良時代までの遺跡を色分けして表しています。

実際に歩き回り、それを写真と文章で表現した「大田区の遺跡を知りたい!」という作品を仕上げました。宮澤さんは、台東区の観光スポットやイベントを外国人にもわかりやすいよう、イラストと文章でまとめた『ようこそ台東区(Welcome to Taito)』という作品を制作しました。



宮澤さんの作品。タイトルが日本語、英語、中国語、韓国語で書かれており、観光マップとして使えるような工夫が。

高校3年生の政治経済の授業の一環として、現役弁護士を招いての模擬裁判が行われました。生徒が裁判官、検察官、弁護人、証人に分かれ、それぞれ約1週間の準備期間を経て、臨んだ裁判。当日は、建造物侵入と窃盗の容疑で起訴された被告人の有罪・無罪をめぐり、審議を展開しました。あらかじめ準備されたシナリオがあるものの、裁判官の判決は当日の検察官／弁護人側の尋問次第。不審な点がないか、答弁に矛盾がないかを慎重に考えつつ、双方の主張を戦わせました。

## News ②

## 今年の模擬裁判も「異議あり!」の声飛び交い白熱!



準備期間中には、弁護士さんにメールや電話で積極的に相談をするなど、念入りに準備を行いました。